



平成24年3月 7日  
国土交通省

## 国土交通省は第6回世界水フォーラムに参加し 世界の水問題解決に貢献します

- 第6回世界水フォーラムが、3月12日（月）～17日（土）、「Time for Solutions-水問題解決の時-」を主要テーマとして、フランスのマルセイユにて開催されます。
- 国土交通省は、世界の水問題解決に向けて水資源管理、水関連災害軽減、下水道の会議等に参加します。
- 国土交通省は日本パビリオンを主催し、日本の技術、経験の共有を通じた水ビジネスに関する情報、並びに東日本大震災を踏まえた復興状況等についての情報を発信します。
- 我が国からは、奥田建国土交通副大臣が3月13日（火）に開催される閣僚会議に参加します。

### 1. 第6回世界水フォーラムの概要（別添参考のとおり）

「世界水フォーラム」とは、世界の重大な水問題を討議するため開催される、水に関する世界最大級の国際会議（世界水会議（国際的なNGO）と主催国政府の共催）。3年に1度、3月22日の「世界水の日」の時期に合わせて1週間程度開催。モロッコ・マラケシュ（1997年）、オランダ・ハーグ（2000年）、京都・滋賀・大阪（2003年）、メキシコ・メキシコシティ（2006年）、トルコ・イスタンブール（2009年）に続き、今回は第6回となる。

### 2. 第6回世界水フォーラムにおける国土交通省の貢献する主な会合等

#### 1) 閣僚会議（円卓会合、全体会合）

- ・ 12のテーマ別に並行して議論する円卓会合において、「水関連災害」のテーマの議長を務めるようフランス政府から要請。
- ・ 全体会合では、円卓会合の議長としての報告、および、世界の水問題解決に向けた他国の大臣級との議論を実施。

#### 2) 日中韓水担当閣僚級会議

- ・ 第2回日中韓サミット（※）における持続可能な開発に関する共同声明で確認された水担当閣僚級会議を開催。  
（※：H21.10北京開催 鳩山総理（当時）が参加）

#### 3) 日本パビリオン

- ・ 国土交通省は、「巧み（洗練と先進）」、「和み（調和）」、「絆」をテーマと

した日本の技術、経験共有を目指した産学官連携した日本パビリオンを主催。

- ・ 日本の技術、経験の共有を通じて水ビジネスに関する情報を発信。
- ・ 東日本大震災を踏まえた復興状況等について情報を発信。
- ・ 産学官合計 15 団体が出展、共有スペースで 10 団体がイベント開催
- ・ 日本パビリオンホームページ（英語のみ）

[http://www.internationalfloodnetwork.org/wwf6\\_japan\\_pavilion/](http://www.internationalfloodnetwork.org/wwf6_japan_pavilion/)

#### 4) 水と災害ハイパネル（国連水と衛生に関する諮問委員会 水と災害に関する有識者委員会（HLEP/UNSGAB）主催）

- ・ 東日本大震災を踏まえた津波に関する水災害リスクへの対応の紹介。
- ・ 「防災パッケージの提供」を含む国際協力についての意見交換。

#### 5) 下水道関連セッション

- ・ 「再生水利用セッション」では、水不足の解消に向け、再生水の利用を促進すべく、水質基準の整備など日本の持つ技術や経験の活用について議論。（国土交通省、（社）日本下水道協会主催）
- ・ 「雨水管理セッション」では、ハード、ソフトによる日本の総合的な都市浸水対策を発展。（フランス主催）

（別添参考）

第6回世界水フォーラムについて

#### 【問い合わせ先】

国土交通省代表 03-5253-8111

（世界水フォーラム全般に関すること）

水管理・国土保全局水資源部水資源計画課 大槻、富澤  
（内線 31-251、31-253） 直通 03-5253-8390

（防災に関すること）

水管理・国土保全局河川計画課 井上  
（内線 35-342） 直通 03-5253-8444

（下水道に関すること）

水管理・国土保全局下水道部下水道企画課 本田  
（内線 34-132） 直通 03-5253-8427

（副大臣の日程に関すること）

総合政策局海外プロジェクト推進課 森、吉井  
（内線 25-802、25-804） 直通 03-5253-8315

(別添参考)

## 第6回世界水フォーラムについて

1. 期間 2012年3月12日(月)～17日(土)
2. 場所 フランス共和国マルセイユ市 パーク・シャノ国際会議場
3. 主催 世界水会議、フランス政府、マルセイユ市など
4. 参加者数 約25,000人(想定)
5. 基本テーマ 水問題解決の時 (Time for Solution)
6. 基本的な構成

(1) テーマプロセス (Thematic Process)

3月12日(月)～16日(金)までの5日間で、4つのテーマ、15のトピックに沿い、全体で約250のセッション(分科会)の開催が予定されている。

(2) 政治プロセス (Political Process)

閣僚級、国会議員、地方自治体の会議で構成され、それぞれ以下の日程で開催が予定されている。

○閣僚級

3月13日(水) 午前閣僚会議(円卓会合)

3月13日(水) 午後閣僚会議(全体会合)

閣僚会議(全体会合)において、閣僚宣言を採択予定。

○国会議員

3月15日(木)、16日(金)に開催

水に関する法制度等の情報共有の場としての「ヘルプデスク」を設立

○地方自治体

3月14日(水)、15日(木)に開催

(3) ハイレベルパネル

特に重要なテーマについては、以下の9つのハイレベルパネルの開催が予定されている。

※和文は仮訳

- |   |             |
|---|-------------|
| ・ 水と災害 (Water and Disasters)                            | 3月15日(木)に開催 |
| ・ 地球上の水の統治 (Global Water Governance)                    | 3月13日(火)に開催 |
| ・ 水と食料安全保障 (Water and Food Security)                    | 3月13日(火)に開催 |
| ・ 水への権利 (Right to Water)                                | 3月14日(水)に開催 |
| ・ 2025年以降の水 (Water beyond 2025)                         | 3月14日(水)に開催 |
| ・ 水への資金調達 (Water Financing)                             | 3月14日(水)に開催 |
| ・ 大国の開発における水 (Water for Development in Large Countries) | 3月14日(水)に開催 |
| ・ グリーン成長 (Green Growth)                                 | 3月15日(木)に開催 |
| ・ 水、食料、エネルギーネクサス (Water, Food, Energy Nexus)            | 3月16日(金)に開催 |

#### (4) 地域プロセス (Regional Process)

○世界を4つの大陸地域と2つの大陸横断地域に分けて、地域の行動にも焦点が当てられている。

- ・4つの大陸地域 (Large Continental Regions)  
アフリカ、アメリカ、アジア・太平洋、ヨーロッパ
- ・2つの大陸横断地域 (Cross-Continental Regions)  
地中海、アラブ地域

○アジア・太平洋地域では、APWF が中心となって準備を進めている。アジア・太平洋地域総合セッションは3月16日(金)に開催予定。

#### (5) サイドイベント

- ・公式プログラムとは別に公開あるいは非公開で行うイベント。
- ・タイプは以下の3種類。
  - 1) 通常の公式のセッションと同時並行のもの
  - 2) 昼食時に開催するもの
  - 3) 夕方開催するもの

#### (6) エキシビション

- ・エキシビションは、10,000m<sup>2</sup>の会場(Hall 3)で開催され、日本の他、フランス、中国、ブラジル、メキシコ等が国としてパビリオン出展を行う予定。国際協力を始めとする各国政府の水関連の様々な活動の他、各国の技術、経験、サービス、製品などの紹介を目的とする。
- ・日本パビリオンとして、252m<sup>2</sup>のスペースを確保しており、15団体がブースを出展するほか、中央の共有スペースを用いてイベントの開催を予定している。

#### (7) 水関連賞の授与式

- ・ハッサンⅡ世水大賞、京都世界水大賞、メキシコ水大賞、トルコ首相水大賞が世界水フォーラムの会期中に授与される。

#### (8) 開会式・閉会式

- ・3月12日(月)の開会式後に、国際連合から世界水発展報告書(第4版)が発表される予定。
- ・全体総括セッションの後、3月17日(土)に閉会式が行われる。

#### (9) その他

- ・3月12日(月)～16日(金)の日程で、ユース・プログラムが開催され、日本からは6名の子どもが参加し、3月15日のセッションにおいて発表予定。

## 7. 過去の開催経緯

### (1) 第1回世界水フォーラム

- 期 間：1997年3月21(金)～22日(土)
- 場 所：モロッコ(マラケシュ)
- 参加者：5ヶ国の大臣6名を含め、63ヶ国500名超が参加。我が国政府からは国土庁水源地域対策課長が参加。
- 概 要：「マラケッシュ宣言」の採択。「21世紀における世界の水と生命と環境に関するビジョン(世界水ビジョン)」の策定を決定。

(2) 第2回世界水フォーラム

○期 間：2000年3月17日（金）～22日（水）

○場 所：オランダ（ハーグ）

○参加者：114名の閣僚を含む約4,600名が参加。

閣僚級会議に岸田文雄・建設政務次官（当時）が出席し、「水に関する危機管理」の分科会において、日本の河川流域での危機管理への取り組み等を紹介

○概 要：本会議で、世界の水問題に関して国際社会に解決策を提言する「世界水ビジョン」が発表された。閣僚級会合では、水問題に関する共通認識と今後の決意を表した閣僚宣言（ハーグ宣言）を採択した。（第2回より閣僚級会合を開催）

(3) 第3回世界水フォーラム

○期 間：2003年3月16日（日）～23日（日）

○場 所：日本（京都、滋賀、大阪）

○参加者：約130名の閣僚を含む183の国・地域から24,000名超が参加。

閣僚級会合には、170の国・地域と47の政府間及びその他の組織から、約130名の閣僚級を含めた約1,300名が出席。

○概 要：閣僚級会合（議長は扇国交大臣（当時））では、閣僚宣言と各国や国際機関が自主的に取り組むべき約500件の行動を取り纏めた水行動集（PWA）を発表。

フォーラムの閉会式では、皇太子同妃殿下御臨席の下、中馬弘毅国土交通副大臣（当時）が日本政府を代表して閣僚級国際会議の報告を行った。

(4) 第4回世界水フォーラム

○期 間：2006年3月16日（木）～22日（水）

○場 所：メキシコ（メキシコシティ）

○参加者：78名の閣僚を含む149の国・地域から19,766名が参加。日本政府からは江崎国土交通副大臣（当時）が参加。

○概 要：閣僚級会合にて、第3回世界水フォーラムの機会に日本政府が立ち上げた水行動集（PWA）のウェブサイト、国連のデータベース（CSD-WAND）として統合することになった。江崎副大臣はこの立ち上げ式典に参加し、日本の貢献について報告。

(5) 第5回世界水フォーラム

○期 間：2009年3月16日（月）～22日（日）

○場 所：トルコ（イスタンブール）

○参加者：155の国・地域から3万人以上が参加。

○概 要：閣僚級円卓会合では、金子国土交通副大臣（当時）が災害管理について報告を行い、政策決定者に関わる主要な提言を行った。

	3月12日(月)		3月13日(火)		3月14日(水)		3月15日(木)		3月16日(金)		3月17日(土)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
式典	開会式											閉会式
ハイレベルパネル			地球上の水の統治	水と食料安全保障	水への権利 2025年以降の水	水への資金調達 大国の開発における水	グリーン成長	水と災害	水、食料、エネルギー、ネクサス			
政治プロセス			閣僚会議 (円卓会議)	閣僚会議 (全体会合)			国会議員					
					地方自治体							
テーマプロセス					1.1 水へのアクセスと水への権利							
					1.2 統合された衛生サービス							
					1.3 衛生と健康							
					1.4 リスクと危機							
					1.5 協力と平和							
					2.1 多様な水利用							
					2.2 食料安全保障							
					2.3 水とエネルギー							
					2.4 グリーン成長							
					3.1 生態系保全							
					3.2 ウォーター・フットプリント							
					3.3 気候変動と世界変化							
					CS1 良い統治							
				CS2 投資								
				CS3 対応可能な環境								
地域プロセス								アメリカ	アジア・太平洋	ヨーロッパ		
								地中海	アフリカ	アラブ		
エキシビション					日本パビリオン							
その他			日中韓水担当閣僚級会議									

# 第6回世界水フォーラム会場位置図 (パーク・シャノ国際会議場)

